

「立原道造をうたう」

太陽は空の中心にかかる

そこ  
はよい見晴らしであつたから青空の一とこ  
ろをくり抜いて人たちは皿をつくり雲の  
フライなどを料理し麩麩・果物の類を食べたのし  
い食欲をみたした日かげに大きな百合の花が咲  
いておてその花粉と蜜は人たちの調味料だつた  
さてこのささやかな食事の後できれいな草原に寝  
ころぶと人の切り抜いたあとの空には白く晝間  
の月があつた

立原 道造 『散歩詩集』より「食後」

©Tachihara Michizo Kinenkai 2007

2023年 5月28日(日)午後2:00開演 會津稽古堂

■主催 ARS NOVA ■後援 会津演奏家連盟 ■協力 立原道造記念会 / 軽井沢高原文庫